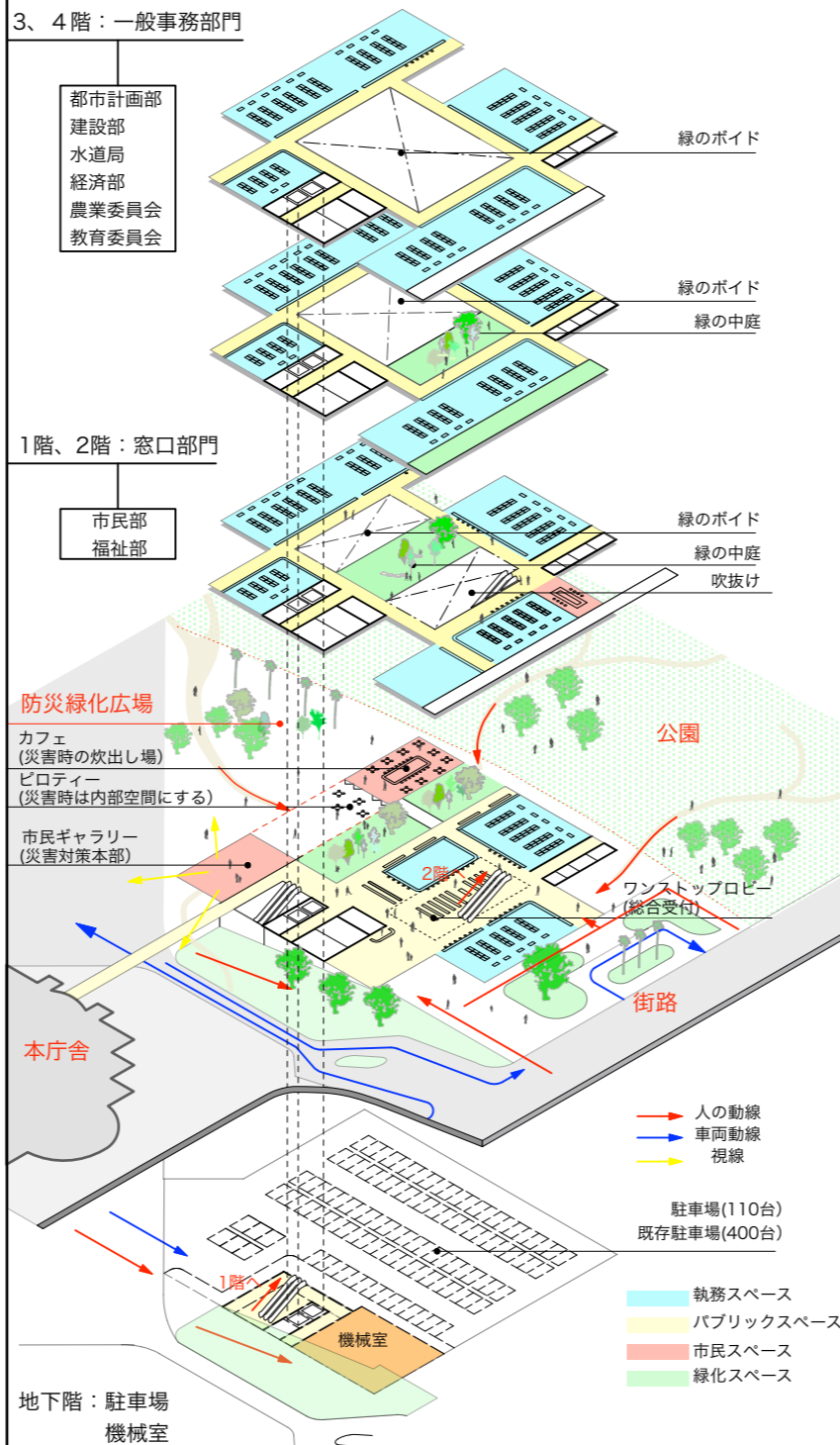
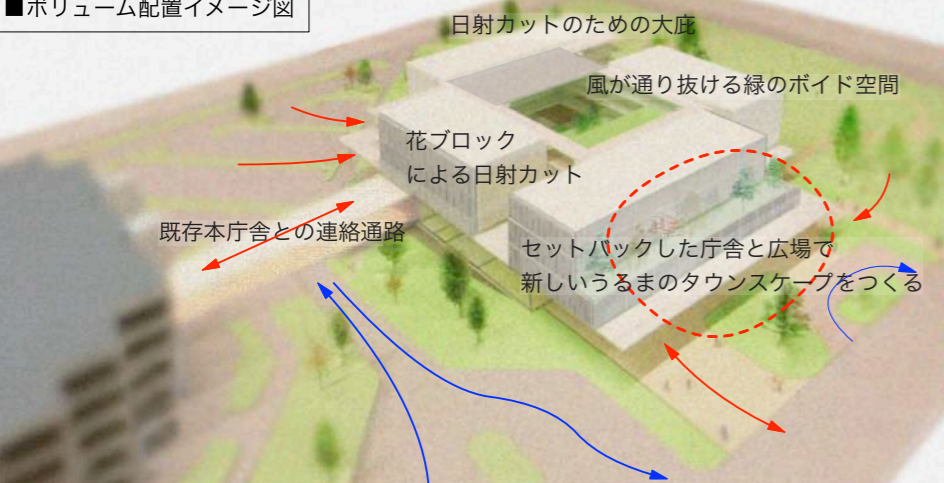
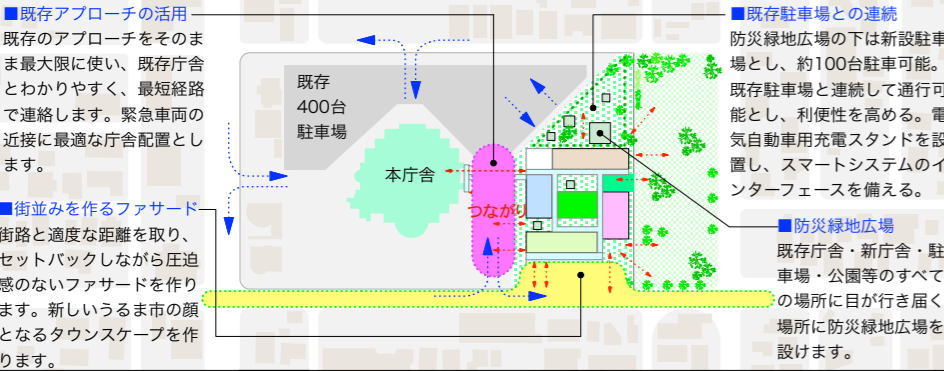


# 市民とやさしく「つながる」環境共生庁舎を目指して

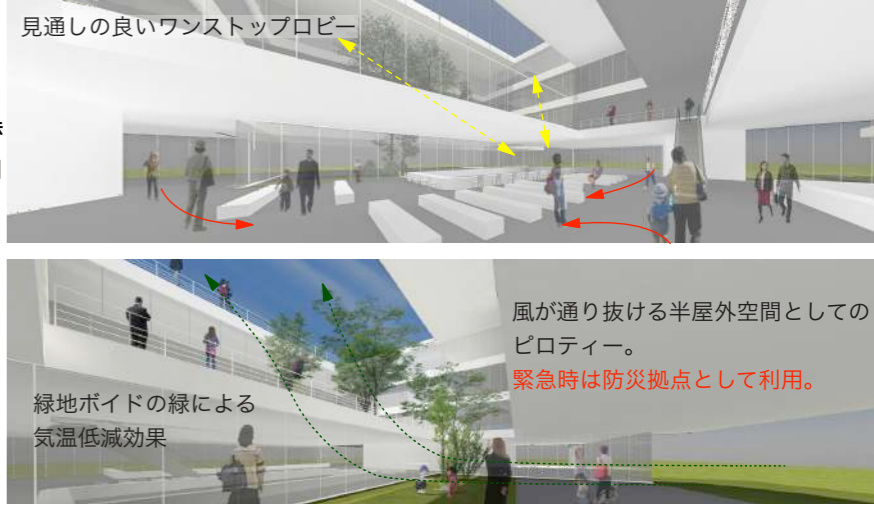
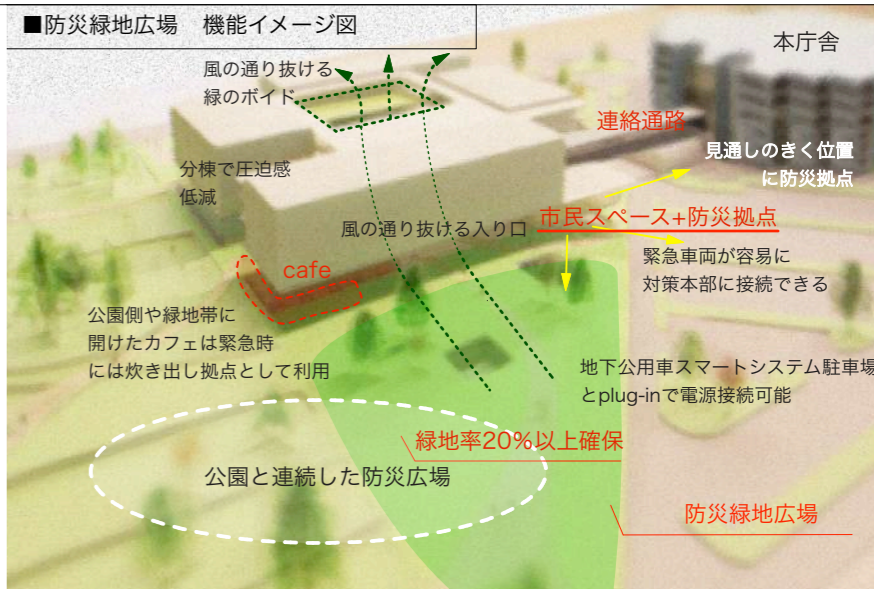
- 4つの分棟庁舎を浮かせてアプローチしやすく風通しの良い市民窓口をつくります。  
 来庁市民が、周辺とつながりがよく、どこからも入りやすい、ワンストップサービスロビーをつくります。庁舎が日射をカットし、風通しの良い憩いの場所を作ります。
- 緑あふれる周辺環境と緩やかにつながり、自然環境と共生する庁舎を目指します。  
 中心部に風が吹き抜ける緑地をはらんだ通風ポイドを設け周辺環境や執務棟と緩やかにつながります。自然通風による熱負荷や空気の交換を行い、CO2の削減に寄与します。
- 圧迫感のない街並み景観（タウンスケープ）を作ります。  
 南側街路に対してセットバックした庁舎がつながり、壁面緑化を積極的に行います。圧迫感の軽減を図りつつ新しいうるま市の顔となるタウンスケープをつくります。
- 防災拠点として北側に防災緑地広場を設けます。  
 隣接するカフェ・ピロティ・災害対策本部と密接につながる防災緑地を設け、駐車場のスマート電源ともつながり、市民に安心安全を提供します。



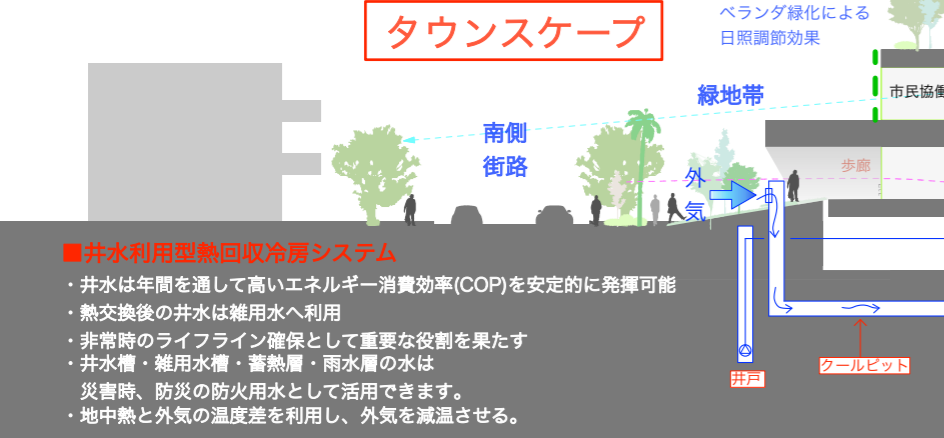
■ 本庁舎地震対策：使いながら「免震化」  
 既存本庁舎の地震対策は、庁舎を運用しながら施工可能な「基礎免震レトロフィット工法」を採用する。住民サービスが低下することなく、地震対策を行え、LCCの低減につながる。



市民	設計チーム	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計を進めよう！</li> <li>市民メンバーの募集</li> <li>敷地調査ならびに周辺環境調査</li> <li>活用の現状と課題の整理</li> <li>市民スペースのあり方を考える</li> <li>配置計画、ゾーニングの再構築</li> <li>うるま市統合庁舎の体系及び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理運営について話しあおう！</li> <li>市民スペースの活用方法を考えよう(基本方針の確認)</li> <li>使い方のルールを検討しよう</li> <li>実施案を見直そう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成に向けてみんなで盛り上げよう！</li> <li>工事現場を知る(工事現場の視察)</li> <li>一緒につくろう(ランドスケープなどでの参加)</li> <li>完成に向けて準備しよう(管理運営の準備、告知、イベントの準備)</li> </ul>



■ 街路につながるタウンスケープを作ります。  
 街路に面する庁舎はセットバックしながら圧迫感を軽減しつつも、街路と緑地帯と共に並行に配置され、市の中心部にふさわしいタウンスケープを創り上げます。庁舎・緑・街路を含んだ新しいうるま市の「顔」をつくり上げます。



■ 防災に強い庁舎＝北側の緑豊かな緑地帯＝防災緑地広場  
 緑の環境ポイドとゆるやかにつながる緑豊かな緑地帯は市民の憩いの場として、日常は公園とゆるやかにつながる緑豊かな緑地帯は市民の憩いの場として日常は緩やかに駐車場や公園とつながります。緊急時には防災・災害復興拠点としても機能し、市民の安心安全な生活をサポートします。駐車場と近接し、公用電気自動車を電源としたスマートシステムの利用が可能。

